

2023 年度 新潟県看護協会看護学会 演題募集要項

1. 開催要項

- 1) 開催日：2023年11月30日（木）9：00～17：30
- 2) テーマ：つながりが生み出す看護の力
- 3) 開催方法：現地参加またはオンライン参加
- 4) 会場：朱鷺メッセおよび看護研修センター
- 5) 目的：看護職の実践に根ざした学術研究の振興を通して、看護の質の向上を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的に、看護学会を開催する。
- 6) プログラム：朱鷺メッセ会場：特別講演・教育講演・一般演題（口演又は示説）
看護研修センター会場：交流集会・看護職能連携セッション
- 7) 演題募集期間：2023年5月1日（月）～6月15日（木）必着（郵送）
- 8) 参加申込期間：2023年8月1日（火）～9月25日（月）
- 9) 参加費：会員 5,060 円 非会員 10,120 円 *集録1冊 1,540 円
学校 5,060 円（別途学生 1,540 円×人数）
- 10) 主催：公益社団法人 新潟県看護協会

2. 演題募集要項

演題応募資格	①研究発表者…2023年度新潟県看護協会会員であること。 ②共同研究者…2023年度新潟県看護協会会員であること。 ※応募前に会員手続きが完了しているか（登録済み）確認のこと。 但し、看護職以外で共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。
演題内容	①発表論文は未発表か未投稿のもとする（ただし施設内発表は可とする）。 ②倫理的に配慮された内容であり、その旨が本文に明記されていること。
発表形式	口演発表…1 演題 7 分の発表 又は研究内容により示説
演題申込・ 集録原稿 提出方法	①演題申込書 ※WORD をダウンロードしてください ②集録原稿 集録原稿は、1 演題につき 2 部提出のこと。 ホチキス留めはせず、クリップ留めとする。 ※2 部のうち 1 部は査読で使用するため、所属・氏名は空白にすること。 ③演題応募チェックリスト ※WORD をダウンロードしてください ④自己申告による利益相反（COI）申告書 ※WORD をダウンロードしてください 以上①～④を同封して、下記送付先へ郵送のこと。 〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町 2-11 新潟県看護協会学会 事務局 担当宛 TEL：025-265-1225 募集期間：2023年5月1日（月）～6月15日（木）必着

集録原稿作成方法	①「4. 集録原稿作成方法について」に沿って作成してください。 ②書式は当協会ホームページより「集録原稿テンプレート」をダウンロードして原稿を作成してください。
演題の選考及び採否	①集録ごとに査読審査を行う。 ②査読後、修正を要する場合は、コメントをつけて、発表者宛てにお知らせいたしますので提出期限内に再提出してください。 ③原稿の採否は、新潟県看護協会の学会委員会で選考の上、結果をお知らせします。なお、提出された原稿は採否にかかわらず返却いたしませんので、ご了承ください。
集録データ・発表データの提出	採択された方は、集録データを提出期間内（9/1～9/7）に下記メールアドレスまでご提出ください。 新潟県看護協会 学会事務局 担当宛 gakkai2023☆niigata-kango.com （☆を@に置き換えてお送りください） 発表用データ（パワーポイントによるスライド）提出は11月中旬予定。
集録原稿の著作権について	新潟県看護協会の看護学会集録に掲載された著作物（Web 公開の発表データ等含む）の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は当看護協会に帰属いたします。
個人情報の取り扱いについて	参加申し込み、演題申し込み等により当協会に送付いただいた個人情報は、参加受付、本学会に関する通知、集録の発送、問い合わせのみに利用し、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはありません。

3. 演題応募から発表までの流れ

月	日	項目
5	1	演題応募 開始
6	15	演題応募 締切 査読（査読者による）
7	下旬	査読結果 送付 （査読後、修正が必要なものについては、コメントも送付） （審査の結果、「再査読」となった演題を対象に相談を受け付けます） 演題採否の連絡
8	1～	学会参加申込（～9/25） 集録修正 発表方法等通知
9	1～7	集録最終提出（データにてメール送信） 送信先：gakkai2023☆niigata-kango.com（☆を@に置き換えてお送りください）
10	下旬～	入金確認後、集録送付
11	中旬 30	発表用パワーポイントデータ提出 看護学会

4. 集録原稿作成方法について

- 1) 集録原稿枚数は、図表を含み、白色A4用紙3枚以内とする。
- 2) 文章作成ソフト「Word」を用いて作成する。
- 3) モノクロで作成する（図表についても白黒で判別できる明瞭なものを作成する）。
- 4) 表題・キーワード・所属施設名・発表者名・共同研究者名は1段で記載する。
- 5) 発表者の氏名の前に○印と発表者の氏名にふりがな（ルビ）を付ける。
- 6) 本文は2段組で、はじめに・研究目的・研究方法・倫理的配慮・結果・考察・結論・引用文献をA4用紙3枚以内（図表を含む）にまとめる。
- 7) 原稿は下記の条件で書式設定を行い作成する。

◆必ず、当協会ホームページより、様式をダウンロードして原稿を作成して下さい。

ダウンロードした様式は、すべて書式設定済みのため、設定を変更しないで下さい。

- (1) 一行の文字数 2 段組み 23 文字
- (2) ページの行数 42 行
- (3) 文字の大きさ

テーマ…14 ポイント（1 行目） 、サブテーマ…12 ポイント（2 行目）

所属（部署名は入れない）、発表者・共同研究者、キーワード…10 ポイント

本文…10 ポイント

- (4) 字体 MS 明朝体、全角で記載し、英文および数字は半角とする。
- (5) 余白 上部・下部・左右ともに…20 mm
- (6) キーワードは 3～5 個程度入れる。
- (7) 句読点は「。」、「、」で記述する。
- (8) 図表は図表番号とタイトルを付け、図は下に、表は上に図表番号とタイトルを明記する。
- (9) 単位は明確に記載する。単位以外の略字は用いない。略字を用いる場合は初めに正式名称を書き、その後省略する。例) ケアマネージャー（以下ケアマネとする）

8) 原稿の構成

I はじめに

- ・なぜこのような研究に取り組んだかの動機、意義、問題の背景、問題設定の理由など、このテーマを選択した理由を説明する。
- ・テーマに関係する先行研究の紹介
- ・自分と研究の関係

II 研究目的

- ・研究の目的・仮説を明快にわかりやすく述べる。「どのような立場から、誰を対象に、何を、どこまで、どのような方法で明らかにするのか」

III 研究方法

- 1 調査期間：
- 2 対象：
- 3

- 1)
- (1)
- ①

IV 倫理的配慮

V 結果

- ・事実を書くのであり、解釈（考察・感想）は書かない
- 「～の結果・図表・図表の説明・図表の読み・検定結果」

VI 考察

- ・結果を解釈し、そこから知見を引き出す
- ・データから言えること、仮説に対する答え、先行研究との比較検討、問題点など ・結果で記述しないことは考察できない

VII 結論（箇条書きとする）

- ・考察から言えること、仮説の答え、この研究でわかったこと

- 1
- 2

※利益相反の有無について記載

例) 本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

引用・参考文献（必ず記載する）

- 1)

9) 倫理的配慮について

- (1) 先行文献を調べて活用しているか。すでに研究成果が出ているテーマをくり返し研究することは倫理的に問題があると考えられる。そのため先行研究を調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明確にすることが大切である。
- (2) 研究フィールドや研究対象者が特定されないように配慮している。
 - a. 論文要旨の記述内容で研究者の所属や研究対象者が特定できないようにする。
 - b. 固有名詞（当院・当病棟も含む）や写真等を掲載する場合は、研究結果を示すのにどうしても必要なもののみとし、研究対象者が特定できないように十分配慮する。掲載の承諾を得られた旨を明記する。
 - c. イニシャルや入院期間などの記載は、対象者が特定されプライバシーを侵害する恐れがある。

×不適切な例	○適切な例
当院、当病棟 S.N氏、59歳	A病院、B病棟 X氏、50歳代
入院期間： 2022年4月15日～6月1日	入院期間： 20XX年4月～6月

- (3) 個人情報を適切に取り扱っている。

個人情報の取扱いは、「個人情報保護法」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」（個人情報保護委員会・厚生労働省、平成29年、令和4年一部改正）「看護職の倫理綱領」（日本看護協会、令和3年）「看護研究における倫理指針」（日本看護協会平成16年）「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）

働省・経済産業省令和3年、令和4年一部改正) および所属施設の規定に従う。

(4) 倫理審査委員会での承認を受けたことを記載する。

所属施設に倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は「倫理審査委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載する。

(5) 研究対象者からの研究承諾について明記されている。

研究対象者に研究目的・研究方法および研究結果の公表等について説明し、対象者の自由意志で承諾が決められるように配慮し、承諾を得られた旨を明記する。

(6) 研究対象者に不利益や負担が生じないよう配慮されている。

研究への参加・不参加によって、対象者の不利益や負担が生じないよう配慮した旨を記載する。

(7) 著作権への配慮がなされている。

a. 文献から本文を引用する場合は、出典を明記する。

b. 図・表を本文に引用する場合は、著作権に配慮し、出典を明記する。

c. 既存の尺度を使用する場合、著作者から許諾を得ている旨を記載する。

10) 利益相反の有無について

※利益相反とは

「日本看護学会における利益相反に関する指針」参照

・利益相反がない場合 (例) 本研究に関して、利益相反関連事項はない。

・利益相反がある場合 (例) 本研究は、所属する「〇〇〇企業」より、報酬を受理している。

11) 文献の引用について (日本看護学会論文集投稿規程より引用)

(1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に1) 2) と番号をつけ、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。

(2) 引用文献は次のように記載する。

<雑誌掲載論文>

◆ 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次).

例) 学会花子：看護研究の〇〇〇について, 〇〇看護, 25(11), p. 35-38, 2008.

例) 学会花子, 日本協子, 清瀬看子, 他：看護の〇〇〇研究, 第〇回日本看護学会論文集(看護管理), p. 5-8, 20△△.

<単行本>

◆ 著者名：書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次).

例) 学会花子：看護実践研究の手引き(3), 〇〇看護出版, p. 145-148, 2006.

◆ 著者名：表題名, 編者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次).

例) 学会花子：研究における〇〇, 日本協子編, 看護実践研究(2), △△出版, p. 76-88, 2007.

例) 前掲書1), p. 100-115.

<翻訳書>

◆ 原著者名：書名(版), 発行年, 訳者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次).

例) Alice Williams：Nursing Research(4), 2001, 学会花子訳, 看護研究(4), 〇〇看護出版, p. 298-280, 2003.

<電子文献>

◆ 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次), アクセス年月日, URL.

◆ 発行機関名（調査/発行年次）、表題、アクセス年月日、URL.

例) 文部科学省, 厚生労働省 (2014), 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針, 2015年4月10日閲覧, <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>.

※公的機関から提供される情報（統計、法令等）、電子ジャーナルのみを対象とする

(3) 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

5. 発表について

- 1) 提出物 : 発表パワーポイントデータ（スライドサイズ 4:3）をメールで提出
- 2) 提出日 : 2023年11月中旬（決まり次第ご案内いたします）
- 3) 発表時間 : 1 演題 7 分
- 4) 質疑応答 : 会場（リアルタイム配信視聴者含む）にて1 演題 3 分
- 5) 利益相反 : データの作成に際し、発表者及び共同研究者の全員について、研究に関する企業、団体等との学会開催時から遡って3年以内の利益相反状況の申告が必要です。発表スライドに利益相反の有無を入れてください。

6. 参加申込

学会参加申し込みについては、新潟県看護協会ホームページの教育研修の項目よりお申し込みください。発表者と共同研究者は参加申し込みが必要となります。